

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

人口と世帯

世帯数 3,965 世帯
人口 17,051 人
内訳 { 男 8,225 人
女 8,826 人

住民登録調 (53年2月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

荒々しい春一番の洗礼
春はときに荒々しい姿で登場する。三月一日は激しい春あらしがスッポリと日本を包みこんだ。この町でも、最大風速三五メートルを記録(樋口俊蔵氏提供)している。秋田地方気象台によると、この強風は、秋田沖の日本海を北上した九七〇ミリバール前後と、台風なみに発達した低気圧の影響であるといわれている。寒気と暖気のせめぎ合いで、光と花の季節も、同時にあらしの季節に早変わりもするわけである。

しかし、荒々しい春一番の洗礼はまた、確かな春への胎動であるかも知れない。

高級品より学年相応なもの
いよいよ四月から新学期、お子さんたちが、保育園、幼稚園そして一年生と、小さな顔を輝かしての入園入学である。

特に初めての場合は、一月頃からその心準備にそわそわしたり一年生には程遠い学用品を買いこみがちだが、あまり高級なものや小さいうちから与えるのも考えものである。

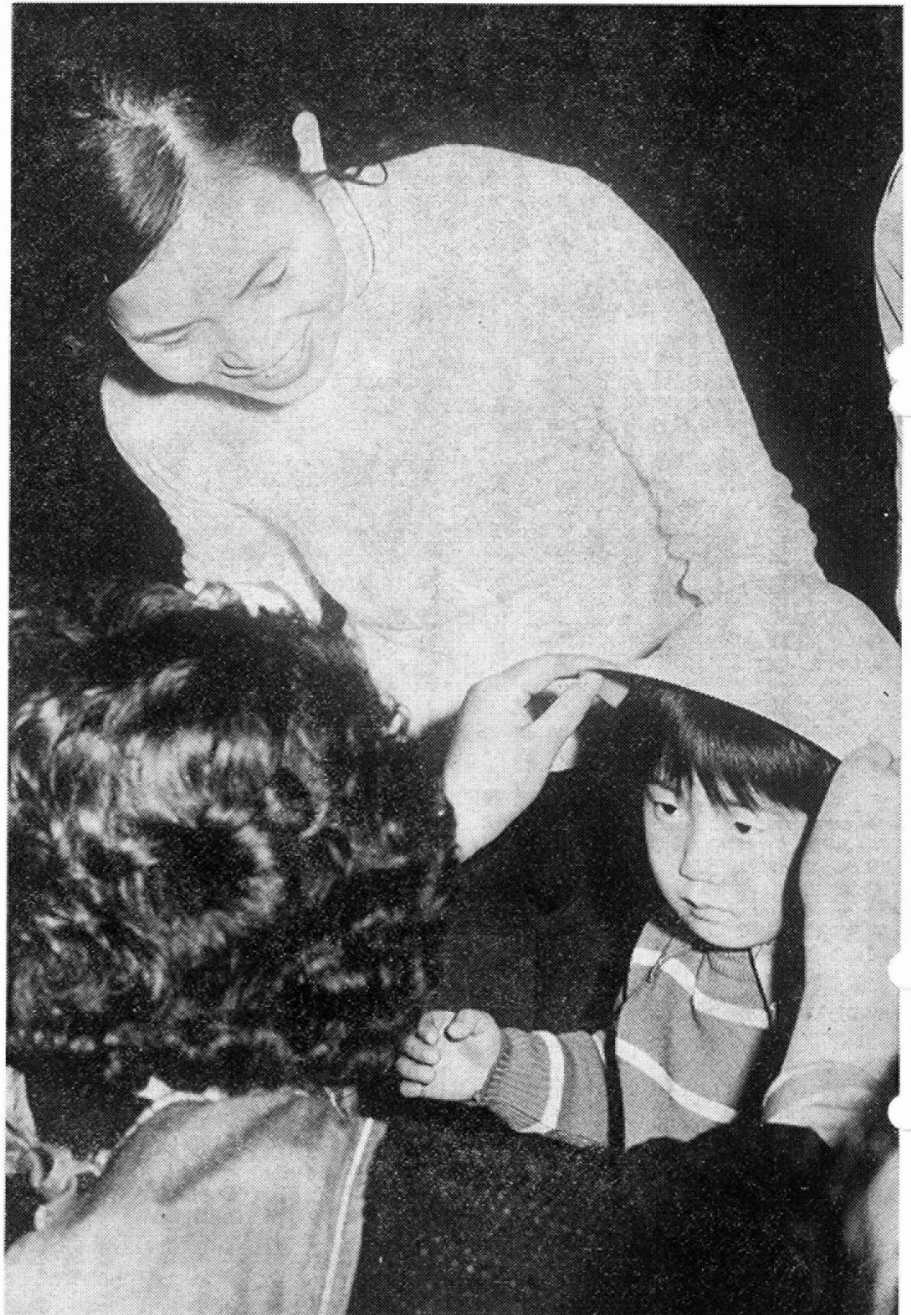
また高学年用のものを一年生が持っても使えない方を知らず本当に使う頃になると、学用品に対する感激もうすれてしま

春は新入生とともに

逆効果である。やはり学年相応の品、数をそろえたいもの。

ランドセル軽く丈夫なもの
ランドセル、この言葉は小学生の代名詞みたいなもので、どの低抵抗もなく使っているが、調べてみたらオランダ語のラッセルが源であった。中村陽一著の「一年生」によると、ランドセルはラッセルにドが添加され日本語化したものと説明があった。話が横道にそれたが、ランドセルは高価なもの必ずしもよいとは限らない。小さな子供が背負うのであるから、軽くて丈夫なことがポイントである。往々にして、他人より高いものを、子どもを乗り越える大人の心情が突走る傾向があるので注意。その点五城目小学校では希望者に統一したランドセルをあっせんしているが、参考になる例である。

今週末には彼岸入りを迎えるというのに、五日間も居るこの寒気団、冬と春とのはざまだとまどいを感じるが、橋の下を流れる水は何時もより水かさが増している。どこかで雪どけが始まっているのだらう。子供たちの入学シーズンとともに春は間違いなくやってくる。



(広報紙中にある写真を欲しい方には)
おあげします

2月15日 五城目保育園で～おかあさんと一緒に
緊張した面持でぼうしを決める

昭和五十二年度 五城目町の主なできごと

- ▽四月一日
 - ・千田金之助氏収入役に就任
 - ・秋田県人権擁護委員会から人権モデル町に指定される
 - ・大川曙町内会誕生
 - ・五城目都市計画街路中央線改良事業(如来寺移転工事)がはじまる
- ▽四月二十七日
 - ・大川小学校校舎竣工式
- ▽五月十二日
 - ・五城目町名誉町民
 - ・故坂谷八十治氏町葬
- ▽六月十九日
 - ・町営住宅十戸に入居
- ▽六月二十八日
 - ・新観光秋田三十景に森山森林公園六位に当選
- ▽七月一日
 - ・秋田、五城目峰越林道開通
- ▽七月七日
 - ・佐々木副知事来町、町内代表と懇談
- ▽七月十六日
 - ・五城目町生活改善センター
 - ・恋地に完成竣工式
- ▽七月十六日
 - ・秋田県農産物セミナー大会
- ▽十一月十五日
 - ・加賀谷町長林業基本問題調査審議委員会に全国市町村長代表で参加
- ▽十一月二十七日
 - ・秋田県青少年のつどい
- ▽一月十日
 - ・恋地開設スキー場にシュリッパリフト竣工式
- ▽一月二十六日
 - ・杉沢小中学校寄宿舎竣工式
- ▽二月一日
 - ・大川農村環境改善センター起工式
- ▽二月一日
 - ・消防団長に小玉太美雄氏を任命
- ▽二月十三日
 - ・五城目町名誉町民故
 - ・渡辺綱彦氏町葬
- ▽二月十五日
 - ・五城目町議会議長に荒川豊治氏就任
- ▽二月十九日
 - ・第一回子どもの雪まつり

社会体育研究集会

スポーツは自らのものとして

三部会で討論

二月二十六日、体育指導委員会主催による社会体育研究集会が、町民センターで行われた。

当日の参加者は、各種スポーツ団体のリーダーやスポーツクラブ会員など九十名で、三部会で討論、全体会でそれを発表し合った。その中で共通の問題点がいくつかあった。例えば継続的な運動ができない、経費がかかる、PRがない、施設がない、指導者がいない、年令に適応したスポーツができない、そして時間がないということであった。

この研究集会を通じて感じたことは、社会体育としてのスポーツは一体だれのためにやるのか、という初步的な疑問に突き当たったことである。これを機会にもっと深く話し合いをすすめる、スポーツに対する考え方を洗い直していく必要があるようだ。(文中敬称略)

研究集会の全体会は、相原社教主事を司会者に、畑沢教育委員長伊藤誠悦氏、阿部運動公園事務局長を助言者としてすすめられた。

かけ足運動継続できなかった

第一部会 「町内部落における楽しいスポーツの普及振興をどのようにしたらよいか」
(発表者 貝田日出子)

▼現況と問題点

- ・よき指導者がいない。
- ・施設が気軽に利用できない。
- ・事故等の保険制度について。
- ・四十代～五十代の参加がない。
- ・家庭で継続的に運動しない。
- ・ある事例として、町内のかげ足運動が継続できなかった。

一日二十分位が適当な運動量

▼助言者

・指導者、リーダーへの不満。

・楽しむスポーツが忘れられてい

る。

- ・年令的な不満。
- ・時間の問題

▼今後の取り組み方

本人の意志が基本

- ・経費のかからないスポーツを。
- ・後継者育成のため小中学生への参加を呼びかける。
- ・青年層の参加とグループ作りをうながす。
- ・無関心者への働きかけ。

▼現況と問題点

決まった時間と場所で練習したい

◎バスケット

・体力的な限界があり年令的に続かない。

・戦場が秋田市にあり時間が制約される。

・施設利用の経費が負担過剰。

◎陸協

・専用グラウンドが必要である。

◎剣道

・地元の戦場がなく練習時間等で制約される。

◎相撲

・施設がほしい。

◎弓道

・早急に練習場がほしい。体育館の施設はとも使用できない。

◎バドミントン

・クラブのPRをもっと町でやってもいい。

◎テニス

・年令層が広く、参加人口も増している。今後は年令別にサークルを結成したい。施設の早朝無料開放を要望したい。

◎野球

・グラウンド整備を要望する。

◎助言者の意見

・どの体協も同じであるが、最も必要なことは、同一の場所です。しかも決まった時間で練習ができる、運動が行える、この二つの条件が必要なのではないか。

・カリキュラムの重要性。

・オールラウンドの体育。



第一部会の発表風景

各部会の討論内容が発表されたところ、共通の問題点をひらいてあげてみたら、次の七点になった。

- 一、継続できない。
- 二、経費がかかる。
- 三、PRがない。
- 四、施設がない。
- 五、指導者がいない。
- 六、年令に適応したスポーツができない。
- 七、時間がない。

スポーツ人口の増加は明るい町づくりへつながる

助言者：健康で明るい町づくりのためにスポーツ、運動をするのではなく、運動する人が一人でも二人でも増えることによって健康で明るい町づくりができるのではない。

▼助言者の意見

毎日の積み重ねが必要

スポーツとは、体力の維持増進のためで、競技にとらわれない、年令も関係のないことである。

しかし、長く続けることにより競技技術への転換も必要となり、人間の本能として当然のことである。

スポーツと健康を合わせ考える必要がある、毎日の積み重ねが一番必要なことである。

◎地域的な組織作りが必要

町内と行政とのかわりあい、また体協と町内との連帯を深めあいが、地域的な組織作りへの転換が必要なのではないか。

◎スポーツ愛好者はもっと行動力を

行政側からみると、住民自身が与えられたものを利用するだけでなく、もっと自らの行動力を必要とする時ではないか。

障害保険については、町だけで全町民を通じた保険に加入している。また、地域町内単位ではまだないが、それなりの保険はある。

健康で明るい町づくりには質問：健康で明るい町づくりをす

するためには、具体的にどうしたらよいか。

スポーツ人口の増加は明るい町づくりへつながる

助言者：健康で明るい町づくりのためにスポーツ、運動をするのではなく、運動する人が一人でも二人でも増えることによって健康で明るい町づくりができるのではない。

つまり、体力づくり、健康づくりのために運動をしなければならぬ。誰のためでもない自分のためであることを各自に自覚させることである。

町民参加の企画は数多い

また助言者運動公園事務局側からは、町民の健康を守るために、いろいろな企画をたててすすめているが、このことは、町広報の紙上を通してみなさんによくPRしているつもりである。青年トレーニング教室、親子体力づくり、朝夕のトレーニング室無料開放などであるが、経費が高いというわりには、無料開放した時あまり集まりがよくない現象がみえる。本当に運動する意欲があるならば、チャンスを徹底的に利用してほしい。

利用者の意欲次第で運用方法も検討できると思われる。その意味で広報をよく見て参加してほしい。

まとめ このたびの研究集会はスポーツとは、運動とはそもそも何のためにやるのかという基本的なことに終始した感じが深く、社会体育の振興に関する核心に迫る提案は時間的に無理なようであった。しかし、しっかりと基本を確め合うことは、この町の体育振興に欠かせないことであり、それなりの意義はあった。今後も継続的な話し合いの中からこの町特有のシステムを生み出してほしい。

就職・進学とも好調に推移

～地元の期待を担う五城目高校～

わが町は、文教の町にふさわしく保育所(園)から高校までの教育施設をもっている。

とりわけ、昭和二十三年の新制高校誕生以来三十年の歴史と伝統を誇る五城目高校は、地元住民の期待を担い、年々その名を高めている。スポーツはその最ものもので、レスリング、バレー、ウエイトリフティング、卓球の活躍がめざましい。

また、昨春秋は西野台地へ新校舎が完成し、教育環境はこれまで以上に充実している。

県外の場合は、一二〇〇社から求人が殺到し、うれしい悲鳴をあげている。これは、同校就職指導部が永年にわたる求人開拓と生徒たちのスポーツや学業面の活躍によるところが大きい。

経済界をめぐる不況の中で、県内一六八人、県外三十人という就職実績は貴重であり、卒業生の活躍を期待したい。

・県内

スズキ部品(十) トヨタ(二) 日産プリンス(一) ト一屋(九) 木内(十三) 伊徳チエーン(十) 本金(二) 秋田プライウッド(一) マルサン(三) コカコーラ(一) 協働社(一) なかよし(三) アキタ電子(三) 菊地電気(五) 秋田シャープ(一) 中央交通(二) カネボウ秋田(三) 三伝商事(一) 八郎湯ハイツ(四) ジャスコ(一) たけやパン(八) マルダイ(一) 陸上自衛隊(六) 東洋合板(四) 秋田銀行(一) 刑務官(一) 秋田鉄道管理局(三) 県庁(四) 市役所(一) など七十九社

・県外

日立(二) 太陽神戸銀行(二) 日興信用金庫(一) 城南信用金庫(一) 東武信用金庫(一) 京浜信用組合(一) パレスホテル、スエヒロ、東武ストア、サミットストア、近鉄太一トラックなど二十八社

昨年並みの進学率

つぎに進学面を見てみよう。これまで東北以外に進学する人はなかったが、ことしはかなり出る受験生は大学、短大、専門学校あわせて六十四名で昨年より減少している。これは生徒数の減少で

進学率はほぼ去年なみである。進学先も四年生大学、短大よりも専門学校への進学が多く、大学は出たけれど世相から実務的な面を重視した傾向といえる。

六十四名のうち、専門学校四十五人、大学十人、短大九人となっている。

東京方面の進学ふえる傾向

進学指導部では、進学面の強化を図るため、進学クラスを一クラス

笹本氏(前秋銀五支店長)

交通教室用器材一式町に寄贈

三月一日付で、秋田銀行盛岡支店長に栄転された笹本正義氏は、五城目に滞在した二年間に、町内のみなさんから協力いただいた感謝のしるしとして、町内小学校



笹本支店長から交通教室用器材の贈呈を受ける町長

ス設けており、来年の受験はかなり期待できるという。また、夏、冬休みや放課後を利用して補習授業などを行っており、その成果が注目されている。

主な進学先はつぎのとおりである
工学院大(一) 拓大(一)
日体大(一) 東北福祉大(二)
八戸工大(一) 聖園短大(一)
秋田経大(一) 聖霊短大(四)
文教大(一) 成田航空大学校(一)
八戸光星短大(一) 秋田短大(二)

に交通教室用器材一式を贈った。この器材は、交通教室用としては本格的な立派なもので、町ならびに教育委員会では、この善意に深く感謝している。

また管理する渡辺五城目小学校長は「おもちゃ的なものはあるがこのような本格的な器材をいただいた心から感謝している。」

四月六日町からの贈呈式を予定しているが、当日早速新入生百三十名を対象に試運転をする計画である。

笹本氏の善意が、町内の児童生徒たちの交通事故防止に結びつくように指導していきたい。」と語ってくれた。

寄贈された内訳

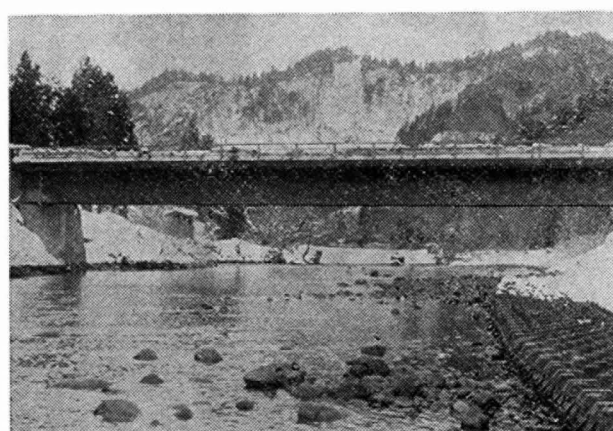
- ① 交通教室用信号機 械ウインカー式下 BS—1 一式
- ② 同歩行者専用灯器 シュエリット式
- ③ 道路標識 下BS—二

農業短大(一) 専大北海道短大(一) 秋田服装専門学校(八) 秋田経理専門学校(三) 山本組合病院付属看護学校(二) 鹿角(一) 神奈県衛生看護婦科(二) など三十一校などである。

う。一瞬あたりの静けさが破れるとやはりこの橋は生きていんだと思う。すでに完成以来、八年を経て橋台の水際にはコケが付き灰色のコンクリートにも一種の安らぎが漂い、科学と自然が調和のとれた姿である。

川上から眺めるこの橋は、周りを造林杉に囲まれて、その間から冬の陽光がさし込む様は何とも言いようがない。

橋台付近には親子づれのアヒルの一群が冷たい水の中をすいすい泳ぎまわっている。同じ生物でも寒さにはふるえて縮こまっている人間様とは大きな違いでむしろ彼らの方が堂々としている。



町内永久橋シリーズ ⑩

入通四号橋

冬の橋を見ていると何か物悲しい風情である。押し黙った姿で、永い間の風雨、積雪に耐えて行くそこには生き生きとした生命の躍動が余り感じられない。

馬場目川奥地にある入通四号橋はまったくそれとは逆な感じを与える。周囲の静けさに吸い込まれそうところで、ときどき、伐採した材木を満載したトラックや、砂利を積んだ大型ダンプが行き交

出合う。きわめて自然のままの地形を生かして築造されている。

入通橋をはさんで坊井地、高千間を結ぶこの道路は入通林道と呼ばれ、杉沢、高千などの奥地にある豊富な森林開発に大きな役割りを果たすであろう。

そして、入通橋が昼夜を問わず材木を満載したトラックを支える様になることを期待したい。

☆……

☆……

人権意識アンケートから

まだまだ低い権利意識

人権擁護委員を知っている一五三%

五城目町は、秋田県人権擁護委員連合会から、五十二年度の人権モデル町に指定され、毎月十一日定例相談日をもうけて、町民の権利が侵害されないように手助けをしてきたところである。

常にくさる人権問題

この一年間を反省してみると、私たちの生活の中で人権問題は常にくさる生活の中に潜んでいることがわかった。それも、家庭の中で、隣人との争い、部落町内の中で、最も生活基盤の深いところで解決をせまられていることが多かった。

自分たちはどんな権利があるか

権利意識は、具体的にどのような権利が自分にあるのか、これを知ることによって生まれ、それが

低い権利意識

アンケートから

しかし、五一中、杉中、富中の父兄を対象に二回にわたって行ったアンケートをみると、権利の主張が幸福のための保証であるにもかかわらず、あらためて権利意識の低いことが知られる。

アンケートの内容は次のとおり。

③人権週間をきいたことがある人は、第一回、第二回の平均が、三五・七%なのに比較して、人権擁護委員については五三%と、五割以上の人が意識している。



川村 アヤ

⑧この頃はさすがに人権擁護委員に相談する人が多く平均六二・一%を示している。村の有力者に相談する五・三%もおもしろい。

⑩人権を侵害されたかと思っている相手、その他を除くと、隣人が最も高く平均の三五・七五%、公務員の四四・八%、警察官の二二・七%、それに親が一一・八%になっており、最も話のわかると思われる立場の人が、他人の人権を侵害する意外性をもっている。

モデル地区の指定を受けて、五人の委員からその感想を述べてもらった。

広まった人権意識

四年間にわたり人権擁護委員を勤めさせてもらった。また、昨年



加藤 教蔵

みんなで話しあう機会を

度月十一日を入権擁護相談日に決めたところ、相談者が多く大へん効果的であったと思う。

相談の多くは土地、家庭の問題で占められている。内容もよく話し合えば解ることが精神的な面で衝動的になっていくことは、ある意味では純粋かも知れないが、もともと時代的なものをよく考えて生きる事が大切ではないだろうか。



小林 米蔵

家族との話し合いの中で

下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分または門地により政治的、経済的または社会的関係において差別されない(憲法第十四条)

これからの人権擁護意識を高めることが大切である。



佐藤 勝太郎

差別や偏見を見直す

権に対する意識もたかまりをみせてきたように受けとめている。お互いの幸せのため、今後大いに周知徹底をはかっていきたい。

・集計結果比較

①回収率		第1回		第2回	
五	中(745)	642人	86%	583人	78%
一	杉中(43)	25	58	26	60
富	中(36)	35	97	31	86
計		702	85	640	78
②回答者男女別					
男		405	58	321	50.2
女		297	42	319	49.8
計		702		640	
③聞いたことがある		(702人)		(640人)	
①人権週間		214	30.5	261	40.8
②婦人週間		486	69.2	435	68.0
③法の日週間		93	13.2	136	21.3
④憲法週間		124	17.7	143	22.3
⑤国連憲章		285	40.6	250	39.1
⑥世界人権宣言		205	29.2	206	32.2
⑦児童憲章		279	39.7	242	37.8
⑧どれも知らない		68	9.7	87	13.6
④聞いたことがある					
①民生委員		611	87.0	592	92.5
②人権擁護委員		354	50.4	355	55.5
③行政苦情相談員		239	34.0	244	38.1
④保護司		264	37.6	318	49.7
⑤交通事故相談員		384	54.7	408	63.8
⑥困りごと相談員		495	70.5	492	76.9
⑦どれも知らない		26	3.7	21	3.3
⑤人権とは					
①知っている		274	40.4	269	42.8
②少し知っている		339	50.0	309	49.1
③知らない		65	9.6	51	8.1
計		678		629	
⑥「人権相談」を法務局や人権擁護委員が受けていること					
①知っている		405	62.7	394	65.3
②知らない		241	37.3	209	34.7
計		646		603	
⑦身に覚えのない噂をたてられ迷惑をしたとき					
①どうしたらよいかわからない		69	11.7	60	11.7
②腹が立つが仕方がないとあきらめる		194	32.8	178	34.7
③下記のところに相談に行く		328	55.5	275	53.6
計		591		513	
⑧相談先					
①人権擁護委員		189	57.6	183	66.5
②民生委員		80	24.4	77	28.0
③行政苦情相談所		45	13.7	29	10.5
④裁判所		15	4.6	14	5.1
⑤弁護士		19	5.8	24	8.7
⑥村の有力者		12	3.7	19	6.9
⑦町役場		26	7.9	21	7.6
⑧警察		51	67.1	29	10.5
⑨法務局		14	4.3	15	5.5
⑩その他		18	5.5	21	7.6
⑨人権が侵害されたと思ったこと					
①ある		133	20.8	102	16.8
②ない		505	79.2	504	83.2
計		638		606	
⑩あるとすれば相手はだれか					
①親		13	9.8	14	13.7
②子供		6	4.5	2	1.9
③兄弟		11	8.3	8	7.8
④公務員		17	12.8	17	16.7
⑤警察官		18	13.5	12	11.8
⑥隣人		39	29.3	43	42.2
⑦その他		65	48.9	46	45.1

は、全県モデル地区に指定され毎

人権擁護委員になって二期目を迎える。この制度は、裁判所と違いその前段的な要素が強い。例えば、人権侵犯にいても法律に基づき問題処理に当ることはもちろん村八分や偏見を取り除くことが必要である。「すべて国民は、法の

人権侵害問題は家庭不和などによく見られる。親子、夫婦で人権を他人に相談しなければならぬ事態は悲しいことだと思う。しかしこれも人間の弱さで、いたしかたのないことだろう。相談に応ずる場合はなるべく家族の中で話し合いながら解決するようにしている。

モデル地区の指定を受け、アンケートなど地域住民の協力で、人権擁護委員になって二期目を迎える。この制度は、裁判所と違いその前段的な要素が強い。例えば、人権侵犯にいても法律に基づき問題処理に当ることはもちろん村八分や偏見を取り除くことが必要である。「すべて国民は、法の

力のある者が弱い者をいじめ弱くする傾向が見える。弱い者が泣き寝入りすることなく法的な援助という認識からの制度であり、モデル指定は多くの町民に知ってもらったことができた。もっと人権を大切に人間が人間として生きる喜びをみんなと分かち合える必要で、偏見や差別など道義的にも許せない。みんななかよく生活する環境づくりが大切であると思う。

(次ページへつづく)

町長など八人

全国町村会長から表彰される

全国町村会長ならびに秋田県町村会長は、町村役場に永年勤務した職員を称えて、二月二十一日秋田県自治会館大ホールにおいて表彰式を行った。

本町からは、四期目を勤めている加賀谷町長をはじめ、二十年勤続が五人、二十五年勤続三人がその対象となった。式典の席上、佐藤祐治企画部長は県内の職員を代表して受彰したり、謝辞を述べたり大忙し、五城目デ一の観があつた。

表彰された職員は次のとおり。
・二十年勤続
佐藤 祐治(企画部長)
阿部 三郎(運動公園事務局長)
千田 光夫(整備課主任)
京野孝之助(管財課車輻係主事)
原田 留松(保健衛生課主事)
・二十五年勤続(伝達)
石井浩三(議会事務局局長)

婦人電化教室

小さな修理はまかせて

電気は私たちの生活の中で、光熱、動力源、テレビ、ラジオなど衣食住と同じく欠かせない存在となっている。

しかし、よく考えてみると、その位大切な電気について、私たちのどの程度の知識をもっているかというと、全くといってよいほど素人が多いのである。

実技で知識を習得

町の公民館ではこのような点をふまえて、電気を正しく理解し、婦人自ら実技を通じて知識を習得しようとして、二年前から東北電力株式会社のご協力を得て「婦人電化教室」を開いている。

二月二十一日町民センターで、今年度最後の教室を開いた。
当日の学習内容は、電気器具の上手な使い方と、かんたんな器具

の修理として
・安全器のヒューズのとりかえ
・コンセント、ソケットの取り付け方
であつた。

わが手で修理を

コンセント、ソケットなど割合簡単な作業でも、いざ自分の手で修理するとなるとなかなか思うにまかせない。電線のカバ取りを除くのに中味までスパッと切り落してしまふ人銅線をこより状になかなかできない人等いろいろであつたが三人の講師の懇切にいねいな指導が実つて、終り頃にもなるて、学級生たちは思い思いに出来るようになった。



島山富雄(管財課国土調査係長)
小玉テツ(保健衛生課公衆衛生係主任)
・町長四期以上 加賀谷力司

佐々木氏ら

消防庁長官表彰を受ける

三月十三日午後一時から県正庁において、永年勤続した消防関係者の表彰式が行われた。
本町からは、消防庁長官表彰三人、日本消防協会長より七人がその表彰対象となった。

電気に対する知識を豊かにし、生活を楽しむ一助となることだらう。

の表彰対象となった。
表彰された方は次のとおり。
・消防庁長官表彰(永年勤続功労章)
第七分団長 佐々木政吉氏
第九分団長 伊藤 次郎氏
第十三分団長 佐藤金一郎氏

・日本消防協会長表彰(功績章)
消防署長 泉谷 春治氏

・日本消防協会長表彰(永年勤続)
第十三分団副団長佐藤一郎氏
第四分団団長 佐川 俊雄氏
第八分団団長 伊藤 光雄氏
第八分団班長 島山 三郎氏
第十二分団班長 工藤安太郎氏
第四分団団員 加藤久一郎氏

(前ページから)

家庭にやすらぎを



小 熊 正 直

人権擁護モデル地区に指定され毎月一回の相談日の設定で広く町民に浸透させたいと思う。このことは各地区の相談日に、地区外からも見えて悩みを相談する人があつたことから裏付けられる。

相談のうち悩みの多いのは私どもの生活の場である家庭に多く、嫁と姑、離婚などスピード時代とはいへ、余りにも短兵急な問題が多い。もっと、PRを行いこの制度の活用を促したい。

人権について

五一中 三年 山崎ゆきみ



あれはちょうど、二年くらい前の冬の事だつた。
「ゆきみ、あそこの店の奥さんのAさんが自殺したぞ。」
学校から帰って家に入ったとたん母の声飛びこんできた。私は一瞬自分の耳をうたがった。あんなに明るくて優しいあんな人が「なして?」それから母は、ながながと私に、話して聞かせた。

約三年ぐらいい前から、この町内で喧嘩が絶えなかった。その張本人がAさんだと誰かが、隣の人に話したら、その隣の人は隣へと:Aさんは町内のきつね屋になつてしまった。それからというもの長い間Aさんは家から出ず、ただ沈黙の時をすごしていたそう。

どんなに辛かっただろう。
人々の白い目を気にし、おどおどする生活。彼女にとって、一日は長く苦しいものだったに違いない。そのような苦しみや淋しさが彼女をつつき、あざわらい彼女を孤立した存在にしまったのだと思う。

しかし私は、近所の人が許すことのできない行為をしていたように思われる。彼らは、小さな牢獄の厚い壁となつて、彼女をじりじりと押しつぶしてしまつたのだ。

その事件前は、優しくほほえみをたやさない人だつたのに、うわさが広まり始めると、以前の面影は、消え去りすっかりかわりはててしまつたのだ。

すなわち、Aさんには与えられなくて、近所の人々に与えられた何かがあつたのだ。それは、一言でいうと「ふれあい」だと思ふ。そのふれあいが、事件という大きな地震によって両者の間に断層ができて、ふれあいがぶつとりとだえ平等にいき渡らなくなつてしまつたのだ。

つまりここに「人権問題」が生じたのだ。
この他にも、人権問題と名のつく事は世界中にみられる。そのような問題が、発生した時に人間が自由と平等の心を持っていたらほとんどの問題は解決できるだらうと思う。

人間、誰しも自由や平等という事が、頭の中のどこかにひそんであるのだ、ただ、それが多いか、少ないかの問題なのである。

農村整備モデル事業入札

- ・久保排水路 三八〇畝
- ・四百八十万円 館岡物産
- ・鑑 沢 線 二〇〇畝
- ・六百九万円 南秋土建
- ・岡本排水路 四二八畝
- ・四百八十五万円 島山組
- ・町村排水路 三九三畝
- ・三百七十万円 佐々木建設
- ・富田排水路 三六二畝
- ・三百七十八万円 伊藤組

関係物価指数

表1

種 目	49年度	52年度	52/49 %	備 考
金	2,500円	4,000円	160.0	
パ ッ ク	28円	36円	128.6	1 kg 当り
液 体 塩 素	9,000円	12,500円	138.9	50kg
ソーダ灰	57円	73円	128.1	1 kg 当り
水質検査手数料	2,600円	5,800円	223.1	
集 金 委 託 料	20円	40円	200.0	1 件 当り
電 力 料	4 円	8 円	200.0	

一般家庭用1ヶ月平均

表2

使 途	使用量	金 額	割 合
洗 た く	5、10 m ²	357円	35 %
風 呂	2、33	163	16
掃 除、散 水	1、45	102	10
炊 事	3、50	245	24
洗 面、手 洗	2、19	153	15
計	14、57	1,020	100

高まる農村部の上水道要望

五十六年度用途に第五次拡張

水道は住民の日常生活に直結しその健康を守るため欠くことのできないものであることから、長期的展望にたち常に豊富な水を安全に供給するため、施設の改良整備を図りながら運営されている。

昭和三十六年から給水を開始して以来拡張を重ね、昭和五十年で第四次拡張工事を完了してありますが、近年「農村部の水不足地域にも上水道を」との住民の要望がたかまり、簡易水道の統合、また区域内の水圧不均こう是正のためパイプ管布設、配水池の増設など、第五次拡張を計画し、昭和五十六年度事業を着手すべく目標で現在その仕事に取りこんでいる。

水一立方給水毎に

十一円三十銭の赤字

年々変動する経済状況により水道関係の諸経費も(別表一)増してきており、昭和五十二年決算見込みでは、水一立方米供給することにより十一円三十銭の不足を生じ年間換算で約七百三十三万一千円の赤字決算となり、昭和五十三年度も現行料金の場合さらに一千二百四十一万四千円の資金不足が生ずる。

ご承知のごとき水道会計は独立採算をたてまゝとしており、受益者の負担をもつてそれをまかなうことになっている。現在五城目町の水道料金は昭和四十九年度からのもので、このままの料金ではとうてい採算がとれなく経営が困難となっている。

利用者から特段のご協力を

従って、このたびこの対策の一として、それに応じた最小限の料金を利用者の方々から負担いただくようお願いして、料金改正条例をこの三月定例町議会に取り図っている。

豊富な馬場目川の水を安心して供給しご利用いただき、みなさんの水道施設として、きれいな五城目町の水道づくりにご協力をお願いしたい。なお簡易水道事業の料金についても、必要経費の増大によりその改定が余儀なくされ、利用者の方々の特段のご協力をお願いしたい。

一般家庭の水道利用状況

あなたの家庭はどのように水道を使用しているか、次の表は五十年年度五城目町上水道の一般家庭の平均利用状況である。

(基本料金 七〇〇円
超過料金三二〇円として)



堆肥コンクリートの実施

今年も次の要領で堆肥コンクリートを実施するのでふるって参加してほしい。

一、趣 旨

米の品質向上と生産の安定を目ざし稲わらを土に還元しながら積極的に地力増強維持につとめる農家を表彰して堆肥生産意欲の向上を図る。

二、参加資格

おおむね五十アール以上の水田を耕作し、稲わらを焼却しないで有効に利用されている農家であること。

三、参加手続き

住所、氏名、耕作面積、堆肥の堆積場所を記載した申込書により、役場産業課又は農業総合指導センターに申込むこと。

四、申込期日

昭和五十三年三月十五日から三月三十一日までとする。

五、審 査

四月上旬審査員が現地巡回して審査する。

六、表 彰

審査の結果優秀な農家に対しては十一月に予定している産業文化祭において表彰する。

出かせぎ先での病気は必ず現地の診断を

～多くなった中高令者のケガ人～

この町からの県外出かせぎ者は二二〇(役場に届出た数)人ほどいるが、最近非常にケガや病気になる人が多くなっている。三月十日現在、ケガの八人を筆頭に、急性肺炎と盲腸が各一人、計十人を数えている。近年にないことである。

く、いわゆる中高年令層が目立っている。年々出かせぎ者の高齢化が進んでいる中で、今年度の事例は関係者への警鐘になることである。

なお、このたびケガをされた方で、現地の診断をうっかり忘れ、家に帰ってから見舞金給付申請の手続きをしたが認められなかった例もあったので、運悪くケガや病気をした方は、必ず次のような手順をふんでから家の方へ帰ってほしい。

◆就労前の健康診断を受けてほしい

医師から異常と診断された方はその指示をよく守り無理のない就労をしてください。また医師からの指導事項を必ず就労事業所に申告願いたい。

◆見舞金給付申請の手続きについて

災害や病気等のため、見舞金の給付を受けようとする場合は、見舞金給付申請書に次の書類が必要である。

一、傷病の場合

①事業主の発行する事故、罹病証明書(用紙は町の出かせぎ相談所にある)記載事項は、必ず事業所の責任者から記入、捺印してもらうこと。

②医師の診断書

必ず現地の診断書が必要であり、帰郷後の診断書だけではだめで現地の診断書がなければ支給されない。

③就労前健康診断受診証明書

(労災を除く)

二、就労中及び帰郷途中事故の場合

①事業主の発行する事故、罹病証明書

②医師の診断書、または同行者か目撃者の証明書

三、交通事故の場合

①事業主の発行する事故、罹病証明書

②警察の交通事故証明書

③医師の診断書

四、不具廃疾による労働不能の場合

①事業主の発行する事故、罹病証明書

②指定医師の診断書

③留守宅火災の場合

④留守宅火災当時、就労中であつた事業主の証明書

六、就労先の宿舎火災の場合

①事業主の権限証明書焼失した身回品の内訳を記すこと

◆見舞金給付申請書の提出期限は災害の発生した日から二カ月以内になければならない。

災害の日から一年を経過した場合は、支給を受けることができない。

◆給付申請書外必要な用紙は市町村に出かせぎ相談所にある。

万 一、災害や病気等になった場合、その他詳しいことは町出かせぎ相談所に問合せのこと。

出かせぎシーズンも間もなく終りになるが、仕事はくずれやれもケガをしないように注意して、元気な姿で家族と会えるようにしていただきたい。

転作物栽培シリーズ大豆

大豆

シロセンナリは良質多収

紫斑病・まん化に強い

今年から始まる水田利用再編対策によって、わが町の転作は、土壌、作業努力などの関係から、大豆がその主流となる見通しだが、品種は大豆の革命児といわれるシロセンナリが脚光をあびている。

この外に、秋田県仙北郡仙北町にある東北農業試験場栽培第二部作物第三研究室の産である「ライデン」(昭和四十一年作出)と「ライコウ」(同四十五年作出)の

反収は農林省から紙折つき
また多収で、十アール当たり二百五十キロ〜三百キロもあり、昭和三十三年ごろの県内在来種に比

べて、二倍にのぼる収量が実証されている。県当局からは「これらに匹敵する品種はない」との折紙つきとか。

先頃昭和農業改良普及所で発表された転作物の栽培シリーズを、三回にわたって掲載していきたい。このたびは大豆についてお届けする。

一、主な作業内容と留意点

①排水

地下水位を低下させる(50〜80cm)「明渠、暗渠の掘削」

②土壌改良

土壌改良には堆肥(100kg/10a以上)や燐、苦土石灰、炭カルなどであり、全面散布するとい、特に酸度矯正(PH6)は必要である。

③耕 耘

耕 耘機やトラクターで碎土をよくする、雑草の繁茂が予想される所では二〜三回掛けし、耕深は15以上とする。

「主根は60〜70cm、活動範囲は20〜30cm」

④施 肥

施肥量は基準としてN 2kg P O₅ 8kgとK₂O 8kg(10a当成分量)であるが、全量全層施用する場合は二〜三割程度増肥する。

また、生育が著しく不良の時は途中で追肥を行う。(N 2kg/10a)

「大豆は金肥と接触すると発芽障害を起すので、肌肥とせず土と混和すること、根粒菌はN過多だと活動が鈍化する。根粒

菌の活動には硝酸や石灰の施用が効果的である。根粒菌は発芽後二十日頃から確認されるが、本業二〜三枚出た頃に株を抜き取ってみて未着性であれば直ちに追肥する」

⑤畦 立

耕 耘機やトラクターに畦立機(培土機)を装着して畦巾65〜70cmに畦立する。(湿田では高畦栽培とする)

⑥播 種

播種は晩霜の恐れがなくなったらなるべく早く行う。「発芽最適温度は30度Cであり、15度C以下では発芽は緩慢であるが発芽歩合90%以上を確保するには10度C以上あればよい」種子量は5〜6kg/10a必要であり病虫害の被害粒を除きよく充実した粒を用える。(紫斑粒、褐斑粒、虫害粒を除く)栽植密度は65〜70cm×15〜25cmで二粒点播とする。

昭和農業改良普及所

有利な助成

中核林業育成事業

意向調査にご協力を

優遇される助成

五城目町は五十一年六月に、中核林業振興地域に指定されているが、これは林野庁の新しい林業施策の一環として取り上げられたもので、全県にさがけて事業を実施してきている。

この事業は五カ年計画であるが拡大造林、保育、作業路などの造林事業に対する助成が非常に優遇

品 種

品 種 名	早晩の別	花 色	開花期	成熟期	備 考
ライ デ ン	中生	紫	8月1日	10月6日	ダイズ線虫に強い。晩播に適する。葛化倒伏する性質あり
ライ コ ウ	〃	〃	8月3日	10月11日	〃
シロセンナリ	晩生	白	8月8日	10月14日	転換畑に適応する。強稈耐肥性あり。機械化栽培に適する

播種時期(肥沃地の場合)

シロセンナリ 5月下旬
ライデン、ライコウ 6月上旬

※覆土は3cm程度とする。

※根粒菌を接種する。

されており、林業経営者にとつては取り組みやすいものとなっている。

意向調査にご協力を

役場の担当課では、来年度もこの事業をスムーズにすすめていくため、森林所有者を対象に、誰がいつ、どこへ、どんな作業計画をもっているか、その意向を調査することになった。

調査用紙は各関係者へすでに配付しているが、この調査は、中核林業振興地域育成特別対策事業をすすめるにあたり、最も基本となるものなので、是非ご記入の上、

三月二十五日まで、企画部整備課山村整備係までご提出方ご協力願いたい。

なお、おおむねの優遇措置は次のとおりである。

一、対象 個人一反歩以上

総合施業団地

二、造林事業

①拡大造林

従来の四〇%補助に変わりはないが、基準経費が十一%程度高く算定されるので、その分だけ補助額が多くなる。

②保 育

団地共同施業計画に従い、下刈、除伐、保育間伐に、基準事業費の四〇%が助成される。

③作業路

助成は従来どおりであるが優先採択され、採択基準も拡大される。

三、資 金

①林業経営改善資金(公庫)

林業構造改善事業と同じ適用を受ける(取得対象特別林令十五年の適用、限度額四百万円)

②林業改善資金

林業改善資金制度による資金の積極的活用(団地間伐促進資金)

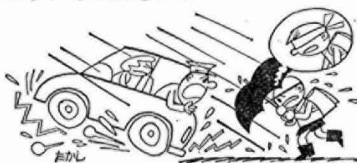
四、その他

もっとくわしく知りたい方は企画部整備課山村整備係までご連絡いただきたい。

4月 ごみ収集日

町内名	4月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
希望ヶ丘	2	7	12	17	21	26
田ヶ野	2	7	12	17	21	26
広ヶ野	2	7	12	17	21	26
今蔵	2	7	12	17	21	26
御蔵	2	7	12	17	21	26
小川	2	7	12	17	21	26
新町	4	8	13	18	22	27
一番	4	8	13	18	22	27
古川	4	8	13	18	22	27
紀久	4	8	13	18	22	27
中川	4	8	13	18	22	27
館原	4	8	13	18	22	27
岩城	4	8	13	18	22	27
築地	5	10	14	19	24	28
畑町	5	10	14	19	24	28
新畑	5	10	14	19	24	28
矢崎	5	10	14	19	24	28
仲長	1	6	11	15	20	25
米沢	1	6	11	15	20	25
雀館	1	6	11	15	20	25
昭辰	1	6	11	15	20	25
大川一	1	6	11	15	20	25
二区	1	6	11	15	20	25
三区	1	6	11	15	20	25
四区	1	6	11	15	20	25
富津内	4	14	24	直接搬入の場合は 前もって焼却場へ ご連絡ください。 (雲3958)		
内川	4	14	24			
馬場	4	14	24			
大川(本村以外)	8	19	28			
面湯	8	19	28			
馬場	8	19	28			

※4月1日より直接搬入料を下記のとおり改定した。
2トン未満積車 1回につき 600円
2〜4トン未満 1回につき 900円
4トン以上 1回につき 1,350円
※4月より農林部の収集日が変更になるのでよろしくご協力願いたい。なお今後は収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日程表を必ず見るようにしてほしい。



雨の日ご注意
余の中心目くし
しるも自然

面湯、八郎湯町地集電話が
一般電話に切替え
かねて要望されていた面湯地集
電話(八郎湯局八千番台の電話)
の一般電話切替工事も順調にすす
み三月二十二日午後二時に切り替
えられることになった。
なお一般電話への切り替えは一
斉切り替えの方法となるので、切
り替え時間の前後二十分程度は緊
急のご用以外の通話をご遠慮願



また新電話番号表は五城目電話
局窓口、面湯農協、羽後銀行八郎
湯支店、五城目信用金庫八郎湯支
店、三後商店で差し上げる。
五城目電報電話局

青少年健全育成五城目地区集会
健全な青少年を
みんなの力で
三月二十三日町民センター
地域活動の充実に役立てる
三月二十三日、町民センターで
青少年健全育成五城目地区集会が
開かれる。
これは、青少年健全育成上の問
題点をあきらかにするとともに、
望ましい指導のあり方や解決の方
向を話し合い、またこの集会で協
議したことはそれぞれの地域活動
の充実に役立てようとするのがね
らいである。



お知らせ

どなたでも参加して
参加対象は、五小、五一中のP
TAや親の会、青年、婦人、若妻
会、その他関係機関の委員のみな
さんであるが、これは、一定のワ
ク内で解決出来る問題でもないの
で担当課では町内の皆さんの積極
的な参加を呼びかけている。
なお当日の日程は次のとおりで

業種別技術相談室の開設

県緊急中小企業対策本部

県中小企業対策本部では、各業
種別の技術相談室を左記の日程で
開設することになった。
これは、不況下における中小企
業の技術的な対応力を強める中で
生産性の向上を図るためである。
▽開催日時及び場所
三月二十四日(金)
午前十時〜午後四時まで
秋田県工業試験場
(雲 秋田 六二一三四一四)

午前十時〜午後四時まで
(雲 秋田 六二一三四一四)



▽相談コーナー
木製品のデザイン
木材人工乾燥技術
木工機械加工、刃物研磨、新建
材の加工技術、木材の接着技術
木材の塗装技術、工業排水処理
工業用原材料の成分管理
鋳造技術、溶接技術
金属非破壊検査技術、金属材料
切削、加工技術
その他関係技術一般

社会福祉協議会で 付きそい看護人を募集

町つ社会福祉協議会では、この
たび一人暮らし老人や、寝たきり老
人、それに入院患者の付添い看護
になる人を募集しています。
入院患者の付添看護人がどうし
ても必要なのだが、経済面でも
頼めない。あるいは、ともかせ
ぎ夫婦で寝たきり老人の世話で
きない、などいろいろな問題をか
かえている人々にお手伝いし
ようとするのがねらいである。
勤務時間、待遇(交通費、昼食
代、給料)などは、社会福祉協
議会で面談の上決めることになっ
ているので、希望者は社協の事務局
までおいでねがいたい。

町並の美しい集落(湯ノ又)

町内部落探訪記シリーズ ⑩

湯ノ又部落は、
戸数一七〇戸を擁
する内川地区で一
番大きく、内川川
に添って伸びる家
並びはちよつとし
た町の通りを連想
させる。
旧内川村時代の
中心部落にふさわ
しい。
この地区は事業
の多いところで主
なものを拾いあげ
ると、昭和四十八
年から約五十町歩
に及ぶ土地改良事
業、小川口林構林道、菅ヶ沢林道
それに湯ノ又、台間を結ぶ広域林
道事業などで事業総額は約四億円
にも達する。
部落長の沢田石部さんは、「数多
くの事業を町から実施してもらい
みな喜んでる。
いまモデル事業として川向線の
路幅の拡張と舗装をお願いしたい
また旧内川小跡地を有効に利用す
るため、湯ノ越温泉を引き入れた



沢田石部落長

してくれ。
また、この地には四百年にもお
よぶ伝統を持つ内川ささらが復活
したことである。このささらは、
農民文化の一行事として、番楽と
並ぶ本町の伝統芸能の一つであり
復活した意味は大きい。
町では、農村集落の秩序ある町
づくりのため農村総合整備モデル
事業を柱にこれからの計画的に整
備して行く方針である。

林業労働者の保養センター的なも
のをつくるように浅見内部落と一
緒に働きかけて行きたい。
第二は湯ノ又公民館の利用度が
高いので、将来は生活改善センタ
ー的な機能を持たせたい。
第三は浅見内小川口(二十四戸
)を湯ノ又地区に編入した方がよ
い」など、素直な考えを明らかに